

(別添3)

【尾張旭市】校務DX計画

1. 保護者との連絡手段

保護者との連絡手段については、令和3年度に導入したアプリにより、欠席連絡や学校便り等の配信を行っている。また、児童生徒向けのチラシの配布等も原則アプリによる配信とすることで、ペーパーレス化を進めている。

なお、同アプリにはアンケート機能もあるが、十分に活用できていない点が課題であるため、今後積極的な活用が求められる。

2. FAX・押印の廃止

FAXの使用については、今年度各学校の使用状況を洗い出し、業者への発注や給食センターへの連絡等、すべての学校でFAXを使用している状況が確認できたため、別手段への移行を行ったところである。

押印については、令和2年10月20日付け2文科初第1026号「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について（通知）」等により原則廃止済みとなっている。

3 校務系ネットワークの再構築及び校務支援システムのクラウド化

本市では、統合型校務支援システムを導入し、教務系（成績処理、出欠確認、時数など）保健系（健康診断票、保健室管理など）、指導要録などの学籍関係、学校事務系などの統合した機能を利用実施している。

しかしながら、システムを閉域網・オンプレミスで利用しているため、職員室以外からのアクセスができず、校務系・学習系の端末を使い分けている現状がある。

今後、システムのリプレース時期に合わせて、ゼロトラストの考え方に基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じたうえで、学習系・校務系ネットワークを統合した次世代のクラウドサービスへ移行していくことを前提に検討を進め、校務の効率化を実現することにより、職員の働き方改革を推進する。

この場合のネットワークセキュリティ・規定・教員向けセキュリティ教育を推進し構築手順・採用ソフト・運用保守も含めて検討する。